

2008年12月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

学術講演会

「接着を使いこなそう」

—最良の修復処置のためのヒント—

H20.10.22



一〇月二十二日(水)に恒例の北区歯科医師会学術講演会が北区民センターで開催された。講師は、大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座准教授の今里聡先生をお迎えし、「接着を使いこなそう—最良の修復処置のためのヒント—」という演題で講演をされた。

近年、多くの歯科学の分野の中で、修復学はその概念が変貌し、発展した学問はなであろうという話から講演がスタートした。まず、歯質接着の基本知識では、エナメル質と象牙質への接着機構は異なることから理解しなければならぬ。エナメル質へは、酸エッ

チングによるマイクロメカニカルな結合であることがわかってきた(一九五五年が、象牙質では組成が異なるため(水分が多い)同じようなメカニズムで接着しないという歴史があった。一九七〇年代に初めて接着性モノマーが開発されたことで、それまで少しも接着しなかった象牙質にとりあえず接着するようになったことは非常に画期的なことであった。接着性モノマーとは、分子中に疎水基と親水基を併せ持つ機能性モノマーである。その後、一九八〇年に入つて、プライマーが登場したこと、接着強さは飛躍的に向上した。プライマーとは、脱灰、水洗後の乾燥に

よつて収縮したコーゲン層を膨潤して、立ち上がりらせレジンが浸透する隙間を維持する役割を担うもので、主成分はHEMAである。そして、その接着界面にみられる状態を樹脂含浸層と呼び、この発見は、世界的に評価されることとなった。この時代において、現在の接着強さと同等のレベルのところまで確立されたものの、酸エッチング、プライマー、ボンディングという三ステップが必要という煩雑さが残った。そこで、一九九〇年代では、これらのステップを短略化することとなった。欧米では、酸エッチングとプライマー+ボンディングの二ステップで、これをウエットボンディングシステムと呼び、日本では、酸エッチング+プライマー+ボンディングという二ステップで、これをセルフエッチングシステムと呼んだ。今里先生は、この二つのシステムについての多くの研究を紹介し、その比較と整理を行い、あらゆる面でセルフエッチングシステムに軍配が上がり、と結論づけた。また、セルフエッチングシステムの中で近年市場に出ているワンポットタイプについても言及された。基本的に親水性であるプライマーと疎水性であるボンディングがひとつの容器に収まるのが合理的でないとした。しかし、近年の多くの



技術革新のもとで共存は可能となったものの接着強さは、ツーステップに追いつくべくもなく、また接着耐久性にも問題が残るため、現時点での使用に関しては時期尚早であるとした。そして、確実な接着界面を形成するための項目として

- 一、レジンが確実に重合する環境づくり(防湿)
- 二、ハイパワーな照射器の使用
- 三、形成面にできるだけ近接して照射
- 四、照射時間は長めにするを挙げられた。

そして後半は、今里先生自身が開発された世界初の抗菌性レジンである「クリアフィルメガボンドFA」の話をされた。欧米では、日本に先駆けて「プロテクトボンド」という名で販売され、多くのシェアを獲得している画期的な接着システムである。これは、ツーステップタイプのセルフエッチングシステム

であり、プライマーに抗菌性を備えている点が大きな特徴である。抗菌性モノマーは、MDPB 5%が主成分であり、これは殺菌成分である第四アンモニウムに重合性基をつけたものである。重合するために耐久性に優れ、耐酸性の高い菌(Lactobacillus)にも効果的であるなど多くの研究データからその有効性を示された。また、接着強さもメガボンドを超える数値も示され、さらに経年的にその接着強さが維持されていることに大きな驚きを感じた。深在性のう蝕で、先駆菌層を取り残している不安があるような症例に最も有効なマテリアルであることは疑う余地がない。今後、抗菌性モノマーは、レジンのみならず幅広い歯科用マテリアルに応用される可能性を秘めており、将来へ向けて大きな期待を持つていただきたいとの言葉で講演は終了した。

今回は、実際に(株)クラレおよび(株)モリタより、「クリアフィルメガボンドFA」の展示もあり、聴講された先生方も実際に商品を手にとりて見ることができた。会場は満席で、予備の椅子が用意されるほどの盛況であり、接着という分野がいかに身近で、興味深いテーマであるかを物語っているように感じた。

(学術部・福西一浩記)

【会員アピール】

このままでは壊されてしまう日本の医療
「医療崩壊を阻止する北区民集会」開く

副会長 高麗 誠紀

北区六師会主催

H20.9.18

平成一九年六月に医療制度改革関連法が成立し、医療費抑制策として患者の大幅な負担増が実施され、同年一〇月からは高額療養費が引き上げられ、また長期療養入院の高齢者は食費と居住費を自己負担させられ、平成二四年までに療養病床数が三万八千床から一萬五床に削減されようとしている。

このままでは医療難民、介護難民が出るのが危惧されており、国民皆保険制度が崩壊してしまう。安心して受診できる医療を取り戻すため、力を合わせて行動しようとして、平成二〇年一月四日に大阪府地域医療推進協議会の主催で「このままでは壊されてしまう日本の医療」安心して受診できる皆保険制度を守ろう」と大阪府民集会が開催された。各界から意見表明が行われ、そのトップバッターとして岡部恭大阪府歯科医師会会長が、あかんのものは「あかん」と説得力のある意見を述べられたのは記憶に新しいところである。

大阪府三師会はその後も

六月五日に三師会全役員懇談会を開き、それぞれの立場で結束を再認識し、友愛を忘れないことを誓った。

北区に於いては、九月一八日（木）、午後二時より大阪東急インにて、北区六師会主催で区民に正しい理解を求めるために、標記集会が開催された。

会場には六師会役員、地域女性団体協議会、社会福祉協議会、食生活改善推進協議会、地域振興会、寝たきり予防推進協議会などの区民団体、総勢百数十名の人々が集結し、熱気溢れる雰囲気の中で集会は行われた。

古林光一北区医師会副会長の司会で会は進行され、後藤和彦大阪府医師会理事による激励挨拶の後、各団体を代表して加納繁照大淀医師会副会長、荒起秀多薬劑師会北区北支部長、栗澤イツ子北区地域女性団体協議会会長、岡村平太北区医師会監事、高麗北区歯科医師会副会長がそれぞれの立場で、日本の医療が崩壊さ

れようとしている現状を阻止する意見表明をした。

盛会の中、政府与党に対し以下の三項目を盛り込んだ決議文が提出され、満場一致で採択された。

一、後期高齢者医療制度を即時廃止せよ

一、国民皆保険制度を堅持せよ

一、社会保障制度の毎年二・三〇〇億削減を撤廃せよ

集会は大いに盛り上がり、大阪が震源となり日本全国を揺るがし、政府与党をも震え上がらせる勢いを感じさせ、無事終了した。

大阪市民表彰

この度、大阪府学校保健の推進に尽力したということで、十二月二五日、大阪市の第四十三回市民表彰を頂きました。



中谷 勝(副会長)

医療保険講習会(府歯指導型)

H20 10.30

一〇月三〇日(木)、梅田玉姫殿にて府歯指導型医療保険講習会が行われ、三〇名が参加されました。今回も講師に府歯医療保険担当常務理事の近森先生をお招きし、解説して頂きました。

冒頭に黒川会長から「我々を取り巻く環境は非常に厳しい。新しい情報が盛り込まれた今回の講習会を良く聞き、できるだけ効率的な保険診療ができるようにしよう。」との挨拶がありました。

講義内容としては冒頭に「六月までのデータによると今回の改正後、全国的に保険点数が前年度比で四〜六%くらい上がった。この大きな理由は歯科疾患管理料(歯管)によるもの。効率的な保険診療をするには歯管で二人

大変名誉なことと感謝しております。

この表彰は、私個人の努力というよりは北区北学校歯科医会、又、大阪北区歯科医師会の皆様の多大のご支援、ご協力の賜物と思っており、心よりお礼申し上げます。

今後共、微力を尽くしてまいりたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



の患者を総合的に管理していくことが重要」と述べられました。続いて多岐に亘る項目について解説され、会員からの事前質問にもわかり易くお答え頂きました。

閉会に当たり、高麗副会長より会員に対し質問票への記入依頼とそれらの質問を医療保険ゼミナールの参考とする旨が述べられ、充実した講習会を終えました。(医療保険部・中谷徹記)

北区みんなの健康まつり

H20.10.25

健康まつりは今年から健康診断が医科、歯科ともになくなったせいか全体的にも来場者が少なく、歯科は六八名でした。出務者は北区北支部から歯科医師二名、衛生士二名で歯科相談及びブラッシング指導を行いました。(地域医療部・木下秀人記)

パノラマ

大阪府内で、インフルエンザが例年より二カ月も早く猛威をふるっている。すでに学級閉鎖が相次ぎ、国立感染症研究所感

染症情報センターによると、府内の患者数は十一月二日現在、全国総数の四割を超える二四人にのぼる。また、新型インフルエンザの世界的流行が危惧される昨今、治療薬タミフルが効かないインフルエンザウイルスも、昨シーズンは九県の患者から見つかっている。新型インフルエンザが流行した場合のわが国の受診患者数は二五万人にのぼると言われている。いずれにせよインフルエンザ感染予防対策として手洗い、うがい、そしてN95マスクは欠かせない。N95というのはフィルターの性能の規格であって、マスクの形状や種類を指すものではないインフルエンザウイルスの大きさは〇・一μmと小さいが、通常は唾液など液体の飛沫と一緒に飛散する。飛沫の大きさは五μm程度で、市販されている不織布マスクでも捕捉可能だ。ワクチンの接種に関しては賛否両論意見の分かれるところだろうか。(H)

大阪府歯科医師会

五支部役員懇談会

(北区大淀支部・福島区支部・此花区支部・
西淀川区支部・北区北支部)

H20.10.21

一〇月二一日(火)、午後五時三〇分、福島区支部の当番により、ホテル阪神一〇階ボールルームにて標記懇談会が開催された。府歯からは岡会長はじめ一三名、北区北支部からは黒川支部長はじめ一〇名、他支部から三八名、総勢六一名の役員の出席を得た。

第一部の時局報告会では、北区大淀支部松井支部長の司会のもと、まず北区北支部黒川支部長が開会の挨拶を行い、さらに府歯から岡会長の挨拶、府歯役員と五支部役員の紹介へと進み、その後、岡会長による時局報告会が行われ、大阪府財政改革に伴う医療行政の改善によって、府歯の財政並びに会務運営に大きな打撃を被っていることを、いろいろな事例を挙げながら訴えられた。また、先般報道された江藤日本歯科医学会会長発言に対しては、直ちに日歯を通じてその発言内容への抗議を行った経緯、レセプトオンライン化をはじめ、国の強引な医療行政に対し、多方面から

の抗議活動を行っているとの説明をされた。最後に府歯夜間緊急歯科診療について、府民の多くの方々から支持され続けているとの現状報告をされ、財政的には府医療行政を含む諸般の事情から、府歯会員の方々に大きな負担となつてはいるものの、社団法人として府民の方々のために精一杯努力することが求められている事を強調された。

最後に此花区支部森支部長の謝辞で時局報告会は閉会となった。

休憩をはさみ、第二部の懇親会に移り、引き続き北区大淀支部松井支部長の司会のもと、西淀川区支部安田副支部長による開会の辞に始まり、下村府歯副会長の乾杯の音頭で宴会に入った。府歯役員と五支部役員が和気あいあいの雰囲気の中で、支部内での悩みや時局問題に至るまで話の輪が各テーブルに広がった。最後に福島区支部浅井支部長による閉会の辞で会は無事終了した。

(常務理事・野口秀夫記)

訃報



大内 弘先生(班外)

平成二〇年九月二日死去

御略歴

大正十三年四月一四日生

昭和二十三年

大阪歯科大学専門学校卒業

大内 弘先生を悼む

会長 黒川 森夫

殊の外秋の訪れが早く思える九月一日、先生の突然のご逝去の訃報に接し非常に驚いております。

先生は高校、大学を通じて私の大先輩に当り、支部入会当初から何かと温かいご配慮を戴いてまいりました。

とくに、昭和四八年四月第二次大内執行部に、入会間もない若輩の私を編集理事として入れていただき、それ以来先生からの大所高所からのご薫陶を得て、本日に至るまで支部のお世話をさせていただく道を歩ませていただいております。

先生は、若くして支部長を五期十年務められ、府歯役員、府歯代議員会議長など幾多の要職をご歴任、当

支部の礎を築かれる一方、ご趣味のゴルフではつい最近までご夫婦仲良く支部のコンペに参加されて会員との親睦をはかっていただいていたおりました。そして今年の五月、その奥様が急逝されたことを知った矢先に先生の悲報に触れ、ご遺族に對してお悔みのことばもございませぬ。

「和を以て貴しと為す」聖徳太子制定一七条憲法にあるこの条文は、実は先生が支部長時代のご挨拶の中で引用されたのが最初で、今にして思えば、先生は旅行やゴルフなどを通じて常に支部の和を重視され、それがどの時代にも共通する基盤であることを実証されたのだと感じ入る次第です。

巨星落つ。初秋の風にコスモスが揺れる日、また一人支部の重鎮が幾多の教訓を残して永眠されました。

長きにわたりご指導戴きましたことを心から感謝致しますと共に、先生のご冥福をお祈り申し上げます。

合掌



緒方卓二先生(班外)

平成二〇年八月二四日死去

御略歴

昭和三年二月一五日生

昭和二十三年

大阪歯科大学専門学校卒業

昭和四六、四八年、副支部長

昭和四〇、四四年府歯社理事

昭和三八、五〇年府歯代議員

緒方卓二先生を憶う

12班 安田 良三

会より、緒方卓二先生の訃報を受け、あまりにも突然な事に瞬耳を疑いました。

先生はスポーツマンで温厚な極めて心の広い人柄でした。

先生を思う時は、いつも感謝と尊敬の念で二杯でした。

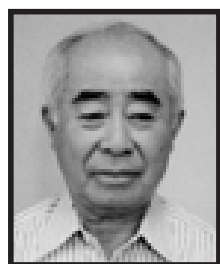
私の支部長在任中に代議員の改選があり、多数の会員が立候補され、その時、先生の勇退が他の立候補者の心を動かし、無事話し合いで円満に解決することが出来ました。先生本当に有難うございました。

先生は生涯ゴルフを愛され、早くから名門茨木カントリーのシングルプレーヤーとして活躍されていました。先生のお世話で北歯の

ゴルフ同好会のコンペを度々開催することが出来ました。又その際同じ組でラウンドし、スコアを競ったのも楽しい思い出の一つになりました。

奥様の言によれば、先生の入院中は多数の友人が見舞に來られ、部屋からは笑声が絶えなかつたと、最後は眠る様な大往生であったと云われた事を聞き、少しは心が癒されましたが、先生との別れは本当に淋しいことです。先生の御遺志は賢弟緒方満先生が継いで行かれる事でしょう。生前色々有難う御座いました。どうか安らかに眠り下さい。

合掌



三宅 淳先生(班外)

平成二〇年十二月二日死去

御略歴

昭和五年四月五日生

昭和三〇年

大阪歯科大学卒業

昭和四四年

西天満六丁目にて開業

昭和二四年

大阪府教育委員会より体育功労賞授与

平成十三年

日本学校歯科医会より表彰

平成20年度・北歯ゴルフ同好会秋季コンペ成績

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	HCP	NET	次回HCP
優勝	代二	48	50	98	29	69	18
準優勝	安修	45	46	91	19	72	15
3位	塚田中	47	42	89	7	82	6
4位	木村	46	43	89	7	82	
5位	石田	56	48	104	22	82	
6位	樋口	54	53	107	24	83	
7位	西川	50	47	97	12	85	
8位	長谷川	50	47	97	12	85	
9位	向井	53	55	108	22	86	
10位	松井	50	46	96	9	87	
11位	橋本	53	43	96	8	88	
12位	橋本	49	50	99	9	90	
13位	矢野	62	50	112	22	90	
14位	大塚	57	43	100	9	91	
15位	橋本	58	58	116	21	95	
16位	黒川	67	57	124	25	99	
17位	黒川	49	49	98	20	78	
18位	黒川	65	61	126	30	96	
19位	中野	59	53	112	16	96	
20位	野口	58	51	109	12	97	
21位	加納	62	59	121	23	98	
22位	吉水	58	47	105	5	100	
23位	吉水	71	63	134	30	104	
BB	浦本	69	65	134	28	106	
BM	橋本	78	72	150	36	114	

ニ	ア	ピ	ン		大塚俊、大塚俊、大塚安、野口
ド	ラ	コ	ン		土岐、橋本哲
ド	ラ	チ	ョ		水沼
ベ	ス	グ	ロ		田中、木村
大					向井
小					岡田

※北歯コンペは、同ネットの場合の順位はハンディ上位、年齢上位、女性上位の順で決定します。敬称略／順不同

北歯ゴルフ同好会秋季コンペ

H20
11.24

十一月二十四日(月・休)に、矢追秀純先生のご尽力で、西宮高原GCに於いて、平成二〇年度第二回コンペが開催されました。当日はINコースからのスタートで、前半の途中から振り出した雨の中でのプレーとなりました。参加者はメンバー一八名、ビジター七名の合計二五名で、大塚夫人が初優勝、幹事の岡田修二先生が二位という結果となりました。また、来年の春季

コンペは四月五日の日曜日に、加納晴彦先生のご尽力で大宝塚GCを八時から八組をおさえていただいております。三ヶ月前に、詳細は連絡させていただきます。同好会会員でない方も奮ってのご参加をお待ちしております。(大塚俊裕記)



会員懇親会

屋形船で秋の大川を楽しむ会

H20
10.3

一〇月に入り急に秋らしくなった三日の金曜日、穏やかな晴天に恵まれ恒例の会員懇親会が開催されました。

今年の水の都大阪にちなみ、いつもとは別の角度から大阪の景色を覗いて頂く「屋形船で秋の大川を楽しむ会」を企画いたしました。

定時の午後七時一五分に天満橋の「八軒家浜」を出航し、先ずは黒川会長の挨拶の後、大塚禮三先生の乾杯の音頭で宴会が始まりました。いつもとは一風変わった宴席に、皆様それぞれお楽しみ頂いてお酒の量も

府歯ソフトボール同好会大会

H20
9.14

九月十四日(日)、第二回府歯ソフトボール同好会大会が秋晴れの中、大阪歯科大学牧野グラウンドで開催された。

わが支部は、都島支部と対戦し、二回まで七対一でリードしていたが、三回相手の猛攻を受け八点を取られ逆転された。しかし、最終回二アウトランナー無しから高麗副会長の「代打おれ」の掛け声から五点を追加し、再びリード、だがまたも三点を返され同点となり、二アウト一、二塁のピンチにセンタ前ヒットを打



たれ、サヨナラ負けかと思ったが、樋口先生のレーザービームと捕手谷口先生の本塁死守により引き分けて試合を終えることができた。今回は見応えのあるいい試合だったと思います。

やや多めだったようです。

船は都島方面を巡るコースで大阪城の辺りでは船のライトを消して天守閣のライトアップを楽しむといった船ならではの趣向もあり盛り上がりしました。最後は東郷副会長に閉めの挨拶をいただき無事お開きとなりました。ご出席頂きました三八名の先生方には厚く御礼申し上げます。(福祉I・高畑栄夫)

新入会員

5班・田辺 優子

(長崎大・平成8年卒)



(診) 田辺歯科医院

北区天神橋一丁三一六
アーク南森町ビル2F
電 六八八二一八二〇〇
六八八二一八二〇八

編集後記

今年も最後のほくし発行となりました。ご協力いただきました先生方ありがとうございました。来年もどうぞよろしく願います。(広報部一同)